

## 第 17 回 観てさわって 科学、体験 2010 フェスティバル参加報告

### フェスティバル参加委員会

委員長	政岡 孝	(実習工場技術班)
副委員長	重松 和恵	(機械・環境建設系技術班)
委員	横田 篤	(電気電子・情報系技術班)
委員	岡野 聡	(化学・材料系技術班)
委員	鎌田 浩子	(自然科学系技術班)

### 1. はじめに

「第 17 回 観てさわって 科学、体験 2010 フェスティバル」が 11 月 13, 14 日の 2 日間にわたり開催された。この催しは、多くの子供たちや小・中学生、高校生から保護者の方々に自然科学やものづくりのすばらしさを体験して感じていただき、科学・技術に関心を持ってもらうことを目的としている。工学部および理学部が主体となり四国電力株式会社の共催、愛媛県教育委員会、松山市教育委員会等の後援を受けて実施されている。工学部等技術部は、今回「ストローロケットを飛ばそう！」のテーマで、ストローロケットを工作しペットボトルを利用した発射台の反発力でストローロケットを飛ばすテーマで参加した。

### 2. 実施状況について

今年は、工学部 5 号館の 3 階を会場として行われた。子供たちが、翼に見立てたタックシールをストローに貼り付けてロケットを完成させ、ペットボトルで作った簡易発射台から目標の的に向かって発射した。熱心な男の子は、翼の形を変えて真っ直ぐに飛ぶように工夫をしたり、ペットボトルで作ったリングの反発力をうまく利用して遠くに飛ばしていた。来場者は、初日こそ出足の鈍いスタートであったが、1 日目 180 組、2 日目 290 組であった。スタッフ一同、休憩も取れない忙しさと終日対応に追われたが、みなさまの協力のもと大盛況のうちに無事終了することができた。

### 3. おわりに

この科学体験フェスティバルに参加するにあたり、ご支援いただきました科学体験フェスティバル実行委員会、工学部総務チーム、工学部等技術部技術職員各位に厚くお礼申し上げます。



写真-1 会場風景